

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成19年1月-12月](#) > 磁気科学国際会議の開催について

入試情報

磁気科学国際会議の開催について

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

広島大学学長室広報グループ

〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2

TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040

E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

(※@は半角に置き換え送信してください。)

NEWS RELEASE



平成19年11月9日

### International Conference on Magneto-Science (磁気科学国際会議)開催のご案内

広島大学大学院理学研究科の谷本能文教授が委員長を務める磁気科学国際会議が、平成19年11月12日(月)から15日(木)まで、広島市の広島国際会議場で開催されますのでお知らせいたします。

最近10万ガウス程度の強力な磁場が自由に使えるようになり、磁場が化学・物理・生物の諸現象にどのように影響を与えるだろうか、磁場を物質科学・材料科学などへ応用したらどのような面白いことが起こるだろうかなどの研究が、大変興味をもたれています。

本国際会議では、このような新しい研究領域-磁気科学(化学反応・物理変化・生物現象に対する磁場の影響(基礎と応用))-について、世界から約140名の研究者が集まり、最新の研究成果の発表・討論と情報交換が行われます。会議では、

- (1) 超伝導材料・金属材料・有機材料などのマイクロ構造の磁場制御の研究
- (2) 磁場によりつくった無重力状態を利用した研究(高品位なタンパク質結晶の作成、地上の重力下では作成困難であった直径2.5cmの純水の水薄膜やバブルの作成にはじめて成功したという研究など)
- (3) 有機LED発光に対する磁場の影響の研究
- (4) カイコなどの生物に対する磁場の影響

など最先端の研究が発表されています。

21世紀の新しい科学・技術である「磁場科学」の研究の最先端情報を、広島から世界に向けて発信します。

■開催日/2007年11月12日(月)~15日(木)

■会場/広島市国際会議場(平和記念公園内)  
スケジュール等詳細は、下記ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

磁気科学国際会議組織委員長 谷本能文

〒739-8526 東広島市鏡山1-3-1

広島大学大学院理学研究科 物理環境化学研究室

TEL&FAX 082-424-7409

E-mail icms2007@hiroshima-u.ac.jp

(@は半角@に置き換えた上、送信して下さい。)

URL <http://home.hiroshima-u.ac.jp/icms2007/>

[広大公式アカウント一覧](#)
 Twitter

 Facebook  
(日本語版)

 Facebook  
(英語版)

 YouTube

 行事カレンダー

 ストリートビュー

 キャンパスカメラ

 学内ポータル